

<2021年度>

第2回理事会議案書

2021年 6月 29日

一般社団法人 全国鐵構工業協會

2021年度 第2回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 704 号室
日 時： 2021 年 6 月 29 日 (火)
14:00～17:00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告 (定款第 36 条)

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 審議事項

資 料

第 1 号議案 専務理事の選定及び

常勤理事の管掌業務の変更について ----- [理 21-2-議 1] (p2)

6. 報告事項

(1) 国土交通大臣認定工場の品質管理体制保持状態確認について --[理 21-2-報 1] (p4)

(2) 委員会等活動状況報告

- ①運営委員会 ----- [理 21-2-報 2①] (p5-10)
- ②技術委員会 ----- [理 21-2-報 2②] (p11)
- ③事業継承対策WG ----- [理 21-2-報 2①] (p9-10)
- ④リモート製品検査検討WG ----- [理 21-2-報 2④] (p12-14)
- ⑤ホームページ改造WG ----- [理 21-2-報 2⑤] (p15-18)
- ⑥採用ポスター作成WG ----- [理 21-2-報 2⑥] (p19)

(3) その他

- ・ 共済事業の推進体制について ----- [理 21-2-報 3①] (p20)
- ・ 外国人労働者への安全衛生教育
視聴覚教材作成WGへの参加要請について ----- [理 21-2-報 3②] (p21-22)

7. その他の定例報告事項

- (1) 構成員登録状況 ----- [理 21-2-他 1] (p24-27)
- (2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 21-2-他 2] (p29)
- (3) 主要会議日程 ----- [理 21-2-他 3] (p30)
- (4) 支部報告 ----- [理 21-2-他 4] (p31-39)
- (5) その他

8. 閉会の辞

以上

第1号議案 専務理事の選定及び常勤理事の管掌業務の変更について

(一社)鉄骨技術者教育センター専務理事を兼務する齊藤眞理事の退任にともない、定款第23号第3項により、下記の者を専務理事に選定すること、また、常勤理事の管掌業務の変更についてご承認の決議をいただきたい。

【記】

【 専務理事の選定及び常勤理事の管掌業務の変更案 】

新役職名 (管掌業務)	氏 名	現役職名 (管掌業務)
専務理事	小貫 武(※)	理事
理 事 (・鉄骨技術者教育センター関連業務管掌 ・同センター専務理事)	辰巳 功	専務理事

※ 経歴書：別紙1

〔参考〕 常務理事(大橋利勝)は変更なし。

報 告 事 項

2021 全構協発第 号

2021 年 7 月 5 日

正会員 理事長・会長 各位
〃 専務理事・事務局長 各位

一般社団法人全国鐵構工業協会
会 長 米 森 昭 夫
【公印省略】

国土交通大臣認定工場の品質管理体制保持状態確認への協力依頼

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の諸事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、鉄骨製作工場の信頼性維持・向上を目的として、大臣認定工場を保有する全構成員に対して、工場審査時の品質管理体制が維持されているかの確認調査を 2019 年度から開始いたしました。

初年度は調査対象を全認定工場としましたが、昨年度以降は性能評価取得後、丸 2 年が経過した認定工場を対象に調査を実施しています。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、別紙「実施要領」に基づき、貴組合傘下の構成員会社（認定工場）に対する下記調査に御協力いただきたく宜しくお願い致します。

敬具

記

1) 確認目的

鉄骨製作工場の信頼性維持・向上

2) 対象工場

・性能評価取得後、丸 2 年が経過した認定工場

3) 確認内容

性能評価時からの品質管理体制の変更の有無および変更有の場合の報告書提出状況

4) 確認方法

組合事務局から対象工場に、「協力依頼」を送り、「工場認定条件の保持状況確認書」を提出していただきます。

5) 確認書提出ルート

構成員会社【確認書作成】⇒都道府県組合事務局【確認結果一覧作成】⇒全構協

6) 全構協への提出期限

2021 年 8 月 23 日

7) その他

- ・品質管理体制の変更があつて報告書未提出の構成員会社には、「鉄骨製作工場性能評価工場審査の手引き（平成 27 年 8 月）」を参考に、資格者の充足状況の確認と速やかな処置の実行、性能評価を受けた性能評価機関への報告書の提出をご指導願います。
- ・本件を通じて知り得た情報の、外部への漏えい、不正利用を禁じます。

以上

問合わせ先 全構協 技術部: 瓜生
tel : 03-3667-6960

2021年〇〇月〇〇日
 一般社団法人全国鐵構工業協会
 運営委員会

会員企業の2020年度の業績等調査アンケート（案）

企業ご担当者へのお願い

*本調査は、(一社)全国鐵構工業協会に所属するファブリーケーターの2020年度の業績等(2021年3月期までの決算状況等)を把握することを目的としております。

*本調査の回答内容は、秘密を厳守し、他の目的に使用することはいたしませんので、ありのままの状況をご回答ください。

*建築鉄骨事業を対象として設問1~17(回答により14まで)の該当する番号の□欄にチェック(またはご意見等)をご記入願います。

*調査票は、2021年〇〇月〇〇日(〇)までに、所属組合事務局宛にご返送下さい。

*会社名を記入されない場合でも、組合名・グレードは必ずご記入下さい。

問合せ(事務関係): 〇〇組合 TEL _____

(内容関係): (一社)全国鐵構工業協会事務局 中村 TEL 03-3667-6501

<鉄骨事業対象>所属組合名、グレードも必ずご記入下さい。

組合名			
貴社名		ご担当者名	
所在地			
グレード	S・H・M・R・J・未認定(該当グレードに〇印)		
正社員	合計 _____ 名 (男性: _____ 名、女性: _____ 名)		

設問1. 女性従業員の担当している業務についてお尋ねします。

上記の女性正社員の内訳を()内に記入して下さい。

(鉄骨事業に従事されている方を対象とし、兼務されている場合は主に担当されている業務で算定してください)

- ①一般事務関係の女性従業員は何名ですか。 () 名
- ②営業関係の女性従業員は何名ですか。 () 名
- ③設計、図面、積算担当の女性従業員は何名ですか。 () 名
- ④製造管理、検査関係の女性従業員は何名ですか。 () 名
- ⑤工場作業員として女性従業員は何名ですか。 () 名
- ⑥その他の職種で女性従業員は何名ですか。 () 名

設問2. 貴社の完成売上トン数の対前年（2019年度）比をお答えください。
（鉄骨事業対象）

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①-30%超 | <input type="checkbox"/> ②-25%超～-30% |
| <input type="checkbox"/> ③-20%超～-25% | <input type="checkbox"/> ④-15%超～-20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤-10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑥-5%超～-10% |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑧+0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ⑨+5%超～+10% | <input type="checkbox"/> ⑩+10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ⑪+15%超～+20% | <input type="checkbox"/> ⑫+20%超～+25% |
| <input type="checkbox"/> ⑬+25%超～+30% | <input type="checkbox"/> ⑭+30%超 |

設問3. 貴社の完成売上額の対前年（2019年度）比をお答えください。（鉄骨事業対象）

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①-30%超 | <input type="checkbox"/> ②-25%超～-30% |
| <input type="checkbox"/> ③-20%超～-25% | <input type="checkbox"/> ④-15%超～-20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤-10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑥-5%超～-10% |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑧+0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ⑨+5%超～+10% | <input type="checkbox"/> ⑩+10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ⑪+15%超～+20% | <input type="checkbox"/> ⑫+20%超～+25% |
| <input type="checkbox"/> ⑬+25%超～+30% | <input type="checkbox"/> ⑭+30%超 |

設問4. 貴社の直近の決算状況についてお尋ねします。（鉄骨事業対象）

4-(1)決算書の損益計算書（P/L）の売上総利益（粗利益）をお答えください。
売上総利益(粗利益)=売上高-製造原価（材料費+労務費+外注費+製造経費）

- ①黒字 ②収支均衡 ③赤字

4-(2)決算書の損益計算書（P/L）の営業利益をお答えください。

営業利益=売上総利益(粗利益)-販売費及び一般管理費（企画、総務、人事、経理等の費用）

- ①黒字 ②収支均衡 ③赤字

設問5. 設問4で「③赤字」と回答された方にお尋ねします。

5-(1) 設問4-(1)で赤字の場合、現状の鉄骨受注価格に対し採算ベース（粗利益ベース）にはあといくら位の受注価格（トン当たり）の上積みが必要ですか。

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①0.1万円～0.5万円 | <input type="checkbox"/> ②0.5万円超～1万円 |
| <input type="checkbox"/> ③1万円超～1.5万円 | <input type="checkbox"/> ④1.5万円超～2万円 |
| <input type="checkbox"/> ⑤2万円超 | |

5-(2) 設問4-(2)で赤字の場合、現状の鉄骨受注価格に対し採算ベース（営業利益ベース）にはあといくら位の受注価格（トン当たり）の上積みが必要ですか。

- ①0.1万円～0.5万円 ②0.5万円超～1万円
 ③1万円超～1.5万円 ④1.5万円超～2万円
 ⑤2万円超

設問6. 貴社の決算状況の対前年（2019年度）比についてお尋ねします。
（鉄骨事業対象）

6-(1)売上総利益（粗利益）の対前年（2019年度）比をお答えください。

- ①-20%超 ②-15%超～-20%
 ③-10%超～-15% ④-5%超～-10%
 ⑤ 0%～-5% ⑥+0%超～+5%
 ⑦+5%超～+10% ⑧+10%超～+15%
 ⑨+15%超～+20% ⑩+20%超～

6-(2)営業利益の対前年（2019年度）比をお答えください。

- ①-20%超 ②-15%超～-20%
 ③-10%超～-15% ④-5%超～-10%
 ⑤ 0%～-5% ⑥+0%超～+5%
 ⑦+5%超～+10% ⑧+10%超～+15%
 ⑨+15%超～+20% ⑩+20%超～

設問7. 貴社の経営上、現在課題となっていることは次のどれですか。（複数回答可）

- ①受注量が少ない ②受注単価が低い
 ③客先の与信問題 ④鋼材他価格の上昇
 ⑤鋼材の入手難 ⑥資金繰り難
 ⑦従業員の採用難 ⑧従業員の人材難
 ⑨追加変更代金の回収難 ⑩図面決定の遅延
 ⑪その他（下枠内に具体的に記入してください）

【以下「現場工事の法定福利費関係」についての設問です】

2021年〇〇月末時点での状況で、下記設問にお答えください。

設問8. 法定福利費の見積状況についてお答えください。

- ①全物件に見積計上している。
- ②(物件により)一部見積計上している。
- ③全物件で見積計上はしていない。

設問9. 設問8で①または②と回答された方にお尋ねします。

「見積計上をした物件」についてお答えください。

- ①すべて法定福利費を含んで契約した。
(法定福利費を全体金額に含んだ形での成約含む)
- ②法定福利費が、認められない物件があった。
- ③すべて法定福利費は認められず(含まず)に契約した。

設問10. 設問9を回答した方にお尋ねします。

契約された工事について、二次以下の現場下請企業への法定福利費の対応についてお答えください。

10-1) 法定福利費について、発注者との契約があった場合についてお尋ねします。

- ①契約があった場合は、当該成約工事分として下請契約企業に払う(払っている)。
- ②契約があった場合でも、当該成約工事分として下請契約企業に払っていないことがある。

10-2) 法定福利費について、発注者との契約がなかった場合についてお尋ねします。

- ①契約がない場合でも当該成約工事分として下請契約企業に払う(払っている)。
- ②契約がない場合は当該成約工事分として下請契約企業に払わない。

【以下「働き方改革」についての設問です】

2020年4月より、中小企業も「働き方改革関連法」の対象となりましたが、各社の労働実態と「働き方改革」に対する意識についてお伺いします。2021年〇〇月～〇〇月末(期間)について、下記設問にお答えください。(概算の数字で結構です)

設問11. 従業員の月あたりの平均残業時間は、概ね何時間ですか。

- ①20時間未満
- ②20時間以上～45時間未満
- ③45時間以上

設問12. 特に残業が多い従業員の月間の残業時間は、下記のどれですか。

- ①60 時間以上残業している社員はいない。
- ②60 時間以上残業している社員がいる。
- ③80 時間以上残業している社員がいる。

設問13. 従業員の平均休日取得日数（実態）は、下記のどれですか。

- ①月間4日未満である。
- ②月間4日である。
- ③月間5日である。
- ④月間6日である。
- ⑤月間7日である。
- ⑥月間8日以上である。

【以下「事業継承」（後継者対応）についての設問です】

設問14. 今後の事業継承（後継者対応）を想定していますか

- ①想定している ⇒次の設問15. 16. 17をご回答ください
- ②既に経験し、当面想定していない ⇒調査の設問は以上です
- ③想定していない ⇒調査の設問は以上です

設問15. 設問14で①と回答された方にお尋ねします。
事業継承（後継者対応）があるとすれば、概ねいつ頃ですか。

- ①足元で直面している
- ②5年以内
- ③10年以内
- ④10年より先を想定

設問16. 設問14で①と回答された方にお尋ねします。
事業継承に関する不安、悩み等があるとすれば次のどれですか（複数回答可）

- ①後継者問題（後継者有無、人材等）
- ②株式関連（資金、税金問題等含め）
- ③事業内容関係
- ④その他

事業継承に関する不安や悩みについて、具体的な内容があればご記入ください。

設問17. 設問14で①と回答された方にお尋ねします。

事業継承に関する相談先や情報はありますか（持っていますか）。

- ①事業継承に関する相談先や情報がある（持っている）
- ②事業継承に関する相談先や情報がない（持っていない）

全構協に求める情報、期待する内容等があればご記入ください

アンケート調査にご協力いただき有難うございました。

以 上

2021年6月29日

全構協構成員向けフィットテスト実施者講習会の開催について

特化則等改正省令の再改正（基発 0126 第 2 号）によりフィットテスト*1が 2023 年 4 月からの実施に延期され、フィットテスト実施者に対する教育実施要領が通達で示されました。（基安化発 0406 第 4 号）

この通達に基づくフィットテスト実施者に対する講習会受講等の教育が推奨されていることを踏まえ、全構協構成員向けの講習会を支部ごとに開催することを企画致しました。安全衛生への意識向上にも繋がると存じますので、本企画についてご了承をお願い致します。

*1：呼吸用保護具が適切に装着されていることを確認するテスト

1. 全構協構成員向けフィットテスト実施者講習会の開催方法〔基本案〕

主 催 者	中央労働災害防止協会（中災防）：修了証の発行者
開 催 地	各支部 9 地区にて開催予定（受講希望者数などにより必要に応じて調整有）
開 催 時 期	2022 年 2～12 月（見込）。各支部との調整により開催日を決定
受 講 対 象 者	全構協構成員会社社員（募集人数は別途検討）
受 講 料 (税込)	中小規模事業場割引*2 = 19,800 円/人 （基本額 33,000 円/人） *2従業員 300 人以下の中小事業者への補助であり下記必要事項有 ・ 労災保険利用申込書 or 領収書等のコピーを提出 ・ 受講料は受講者が直接中災防に振込
講 習 内 容	学科 1.5 時間 実技 3.5 時間

2. フィットテストの実施について

- ①フィットテストの対象者：溶接作業従事者及び同一作業場での従事者
- ②フィットテストの頻度：年 1 回
- ③フィットテストの実施者：必ずしも各事業所に置く必要はなく、外注でも可能。また、講習会受講者が他の人を教育することでも実施者としての知識・技術の習得は可能。
- ④フィットテストの実施体制：下記の方法が考えられる
 - A) 自社に実施者を養成し、フィットテストを実施
 - B) 複数社又は組合等のグループに 1 名実施者を養成し、フィットテストをグループで実施
 - C) 外注業者に委託

3. その他

今後、中災防との協議により開催場所・時期を含め検討して参ります。

なお、受講者に対する補助につきましても、動向を注視しつつ状況に応じその是非を判断したうえで検討させて頂きたいと存じます。（5 千円程度/人）

<参考> 「特定化学物質作業主任者」資格取得への補助金付与を 2021 年度に承認頂いております。

予算 5,000 円/人（構成員会社当たり 1 名）×約 2200 社 = 11,000,000 円

以 上

〈 2021 年度 〉

第 2 回 リモート製品検査検討WG 議事録(案)

1. 日 時 2021年6月10日(木) 13:30～15:30
2. 場 所 Web会議(ホスト:株式会社日成興産様)
3. 出席者 佐藤リーダー、西山、岩永各委員
(事務局)辰巳、大橋、高野、新村、瓜生
(検査対応者)株式会社日成興産 奥村常務他

4. 議事次第

- 1) リーダー挨拶
- 2) 前回議事録の確認
 - ・ 前回(4/2)議事録 資料 No. 1
- 3) 日建連との意見交換会について(事務局)
 - ・ ヒアリング内容報告 資料 No. 2
- 4) 「リモート製品検査」シミュレーションの実施
 - ・ リモート検査のポイント 資料 No. 3
 - ・ シミュレーションの実施 資料 No. 4
 - 工場概要説明→書類検査→実物検査→まとめ
 - ・ 検討事項に関する協議
- 5) その他
 - ・ 日建連との意見交換会の日程調整(候補日)
 - ・ 次回開催について

5. 議事要旨

- 1) リーダー挨拶

佐藤 WG リーダーより、リモート検査の準備をいろいろと進めてきた、M グレードを想定した検証ができるようにやっていきたい旨の挨拶があった。
- 2) 前回議事録の確認

事務局より前回議事録(資料 No. 1)の確認が行われ承認された。
- 3) 日建連との意見交換会について(事務局)

事務局より資料 No. 2 に基づき、日建連とのヒアリング内容が報告された。主な内容は下記の通りとする。

 - ・ 日建連ではリモート検査の内容を「可能」、「不可能」、「不要」の3つに分類分けをして進めている。
 - ・ 日建連の成果物は10月ごろにホームページ上で公開予定。
 - ・ かなり具体的な内容になっており、まとまる前に意見交換会を開き、Fab としての意見を反映させたい。

4) 「リモート製品検査」シミュレーション

事務局よりリモート検査ポイント(資料 No. 3)が説明された後、日成興産にて模擬リモート検査を実施し意見交換が行われた。主な実施内容及び意見は下記の通りとする。

[検査体制]

模擬実施者 : 株式会社日成興産 計 5 名
進行担当 1 名
計測者 2 名
撮影者 2 名 (その他: 写真撮影 1 名)

第三者検査会社: さくら検査 担当者 1 名

設計者 : 西山委員

GC 担当者 : 岩永委員

[使用機材]

使用ソフト : teams

撮影機材 : iPhone11Pro、 Pxcel4

通信環境 : ポケット Wi-Fi

その他機材 : ワイヤレスマイク、 スタビライザー

[検査対象]

工事名 : 某工事

検査対象 : 柱 1 台、 梁 1 台

[主な意見・指摘事項]

① 書類確認

- ・ 共有資料は質疑中のページを移すようにしたほうが良い。
- ・ 超音波の欠陥報告は書類を読み上げているだけでは伝わりづらいので合格キズ等は位置の絵などを報告書につけてあると理解しやすい。
- ・ 第三者検査会社から計測結果だけでなく全体の印象を言ってもらえるとよい。

② 製品計測

- ・ 撮影対象の製品番号は最初に撮影し伝えるのがよい。
- ・ 自社基準と今回の検査基準を明確にして事前に説明しておいたほうが良い。
- ・ 寸法測定項目は事前に GC, 設計者と確認しておく。(勾配を含めるか等)
- ・ UT 検査で合格欠陥が少ない場合、見つかったものを当日検査の検体としてはどうか。
- ・ マイクの調子が良いものを予め確認しておいたほうが良い。
- ・ 見やすさは撮影者の技量による影響が大きく、事前の練習が必要になる。
- ・ 溶接部は影が欠陥に見えてしまうことがある。
- ・ 超音波探傷機の画面は野外だと見づらいため、日除けのようなものがあつたほうが良いのではないか。
- ・ スタビライザーはあるほうが、手振れが少なく見やすい。

- ・ 主たる撮影機材がどれになるかを決めて知らせておけば、画面で確認する参加側もピン止めするなどの工夫ができる。
- ・ 検査要領書に計測の記号があるとどこを図っているのかがわかりやすい。

その他の模擬リモート検査実施に関する意見等は、録画データを配布し再確認後に事務局までメールで送ることとした。

5) その他

① 日建連のガイドライン案について

追加情報として日建連にて検討されているリモート検査方法の情報共有が行われ、日建連への要望すべき内容について協議した。

- ・ 従前の検査レベルと同等以上を確保するのは難しいのでは
- ・ リモート検査を適用できない事例を明記しているのは良い。負担が大きくなりないように配慮されている。
- ・ 資料の事前送付、確認も当WGの方向性と合致している。
- ・ 会議 WEB システムの準備は鉄骨製造工場だけでなく GC が準備することも前提としてほしい。
- ・ リモート検査での溶接部の外観検査は難しいので第3者検査員の確認で良いとできる場合限ったほうが良い。

② 日建連との意見交換会の日程調整（候補日）

日建連との意見交換会を開催する方針が確認された。リモート製品検査検討WGからは佐藤リーダー、西山、岩永各委員が意見交換会に出席することとし、日程については7月5、7、8日のいずれかで日建連と調整をする。

（日建連との調整の結果、7月5日 15:00～17:00 に開催することとした。）

日建連参加者：対面参加 3～4名、Web 参加 2～3名

全構協参加者：佐藤リーダー、西山、岩永各委員、事務局)

・ 次回開催について

次回WG開催日程については後日検討する。

以上

2021年6月30日

全構協正会員
各都道府県組合（工業会）御中

一般社団法人全国鐵構工業協会
ホームページ改造WGリーダー
東北支部長
渡辺 勝

全構協ホームページでの工場詳細情報掲載に関するアンケートのお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、全構協では、鉄骨製作業界の品質管理体制を確保するための施策の一環として、全構協ホームページの「構成員の紹介」コーナーに、別紙の詳細情報について追加掲載することを検討しています。

追加掲載する情報は、主に本コーナーをご活用している工事発注者が、工事の難易度や規模に応じた最適な工場を選定しやすくするためのもので、希望する構成員のみ、自己申請情報の掲載を考えております。

つきましては、本コーナーのシステム改善等詳細な検討を進めるにあたり、予め掲載希望者の多寡を把握したく、貴会構成員を対象としたアンケート調査を企画いたしました。

添付の「アンケートのお願い（構成員宛て）」と「＜別紙＞認定工場リスト書式（案）」を貴会構成員全員にEメールでお送りくださるようお願い申し上げます。

なお、今回のアンケートは、Google フォームというインターネットのサービスを使用し、回答は全構協に直接送信されるため、貴会事務局での回答の収集と集計作業は不要となります。全構協のデジタル化の一環としての試みですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

敬具

（事務取扱：技術部 瓜生）

2021年6月30日

構成員各位

全国鉄構工業協会
ホームページ改造WG

全構協ホームページでの工場詳細情報公開に関するアンケートのお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、全構協では、鉄骨製作業界の品質管理体制を確保するための施策の一環として、全構協ホームページの「構成員の紹介」コーナーに、別紙の詳細情報について追加掲載することを検討しています。

追加掲載する情報は、主に本コーナーをご活用している工事発注者が、工事の難易度や規模に応じた最適な工場を選定しやすくするためのもので、希望する構成員のみ、自己申請情報の掲載を考えております。

つきましては、本コーナーのシステム改善等詳細な検討を進めるにあたり、予め掲載希望者の多寡を把握したく、構成員各社を対象としたアンケート調査を企画いたしましたので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

アンケートは、7月30日までに下記URLをクリックし、インターネットの画面上で必要事項を記入のうえ送信してください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdJyU46Frxcy73wTytULXzgLZlGjk0lgFZy8hWBNMlzZVgcVQ/viewform?usp=sf_link

敬具

全構協ホームページのアンケート

全構協ホームページでの工場詳細情報公開に関するアンケートです。
回答のほどよろしく願い申し上げます。

なお、現状の構成員工場の紹介コーナーは以下のようになっています。

<http://www.jsfa.or.jp/cgi-bin/result.pl5?area=AL&grade=AL&name=AL>

*必須

1. 貴社名 *

回答を入力

2. 構成員番号 *

構成員番号は5桁で記入してください。「-」は不要です。

回答を入力

3. 構成員工場の紹介コーナーに現在掲載されている情報の他に、貴社詳細情報の追加掲載を希望しますか？ *

- 希望する
 希望しない

4. 上記質問で「希望する」と回答した方のみ、希望する追加情報の項目にチェックを入れてください。

- 年間加工能力 (t)
 資本金 (万円)
 従業員数 (人)
 敷地面積 (㎡)
 建築面積 (㎡)

5. その他、掲載を希望する情報等、要望がありましたらご記入ください。

回答を入力

送信

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



2021年6月3日

全構協 業種紹介ポスター 正会員配布部数一覧

都道府県		ポスター	リーフレット	送付用封筒
1	北海道	190	190	190
2	青森	70	100	70
3	岩手	70	70	70
4	宮城	80	80	80
5	秋田	75	300	75
6	山形	50	50	50
7	福島	90	450	90
8	茨城	90	200	50
9	栃木	70	70	70
10	群馬	70	70	70
11	埼玉	100	100	100
12	千葉	20	100	100
13	東京	190	1,900	190
14	神奈川	240	240	120
15	新潟	10	90	90
19	山梨	70	70	30
20	長野	90	90	90
16	富山	50	50	40
17	石川	55	55	55
18	福井	40	80	40
21	岐阜	60	600	50
22	静岡	100	100	100
23	愛知	100	210	50
24	三重	60	60	60
25	滋賀	50	50	50
26	京都	20	20	20
27	大阪	210	210	210
28	兵庫	160	160	160
29	奈良	40	40	40
30	和歌山	50	50	50
31	鳥取	40	80	40
32	島根	50	300	50
33	岡山	80	80	80
34	広島	130	130	130
35	山口	120	120	80
36	徳島	40	40	40
37	香川	60	60	60
38	愛媛	60	60	60
39	高知	50	50	50
40	福岡	150	150	150
41	佐賀	40	40	40
42	長崎	60	60	60
43	熊本	100	100	100
44	大分	60	60	60
45	宮崎	60	300	60
46	鹿児島	70	140	70
47	沖縄	60	60	60
合計		3,800	7,685	3,650

2021年6月21日

全構協共済事業の推進体制について (案)

1. 推進の考え方

各支部が主体となり、全構協事務局と連携して推進する。

2. 推進体制

1) 「共済推進担当者（仮称）」の設置

- ・各支部事務局に「共済推進担当者（仮称）」を設置する。（全国9支部各1名）
- ・支部の状況によっては、支部内の他組合事務局に設置する。
- ・各支部内の共済事業の状況や課題等を収集・把握する。

2) 「共済推進担当者（仮称）連絡会議」の創設

- ・各支部の「共済推進担当者（仮称）」と全構協事務局の情報共有を目的として連絡会議を創設する。
- ・年2回程度の開催を想定する。
- ・各支部の共済事業の状況や課題等を全国レベルで共有し、対応検討を行う。

3) 支部共済推進会議の実施

- ・各支部主催で今後も従来同様に実施する。
- ・各支部内の共済事業の状況や課題等の共有・周知を行う。

4) 共済事業活性化に関する諸施策

- ・情報共有の仕組みの構築
- ・デジタル技術の活用（Web会議、事務処理の効率化）
- ・協力会社との緊密な情報共有・連携

以上

一般社団法人全国鐵構工業協会御中

令和3年6月吉日
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

外国人労働者への安全衛生教育用の視聴覚教材作成WGへのご参加のお願い

近年の外国人を雇用している事業所数の増加および外国人労働者数の増加に伴い、視聴覚教材などの外国人労働者が理解できる方法による安全衛生教育の支援が求められております。

現在、弊社では、厚生労働省「外国人労働者安全管理支援事業(安全衛生教育教材の作成)」として、外国人労働者の安全衛生教育のための視聴覚教材等の作成を行っております。一昨年度、昨年度に引き続いでる事業でございます。

実態に即した効果的な教材を作成するため、本事業へのご協力をお願い致したく存じます。ご検討のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

記

1. 事業の概要

① 事業名

厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課委託事業
「外国人労働者安全管理支援事業(安全衛生教育教材の作成)」

② 作成教材の内容

- ・日本で働き始める外国人労働者の安全衛生教育用
 - 技能実習生などとして働く外国人労働者を想定
 - 安全衛生面で最低限注意すべきポイントをわかりやすく、簡潔に説明
 - 内容は、災害・ヒヤリハットの事例、事故時の対応、事故防止対策(装置等の取扱い、安全装置・保護具等)、日常管理など
- ・漫画形式でPDF版とその動画
- ・メインは6ページ×3ストーリーで、それにトピックス等を入れて、全30ページ程度を想定
- ・日本語以外に13言語に翻訳し、厚生労働省webサイトおよびYouTube公式チャンネルなどで公開予定

2. 対象とする職種と作業

- ・主に鉄工職種(構造物鉄工作業)およびその関連作業

3. 依頼事項

① ワーキンググループへのご参加

鉄工教材を検討するワーキンググループ(WG)へのご参加(1名程度)をお願い致したく存じます。

- ・WGの内容:事務局で作成する教材案の記載事項、描画・セリフ等についてご意見を頂く
- ・開催回数:年度内に4回程度(主な検討は7月から11月頃までを予定)
- ・WGメンバー:現場作業、安全衛生対策等にご知見のある方4名程度と事務局
- ・弊社規定の謝金をお支払い致します

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WGは基本的にメール審議あるいはweb会議を想定しております。

② 現場見学先のご紹介

教材で描く漫画の参考とさせて頂くため、鉄工作業の現場を見学させて頂きたく、ご紹介頂ければと存じます。1か所です。できれば、関東圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の方が有難いです。

4. 依頼者

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町2-3
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

環境エネルギー第2部 環境リスクコンサルティングチーム

担当: 和田(宇)、菅谷

メール: takao.wada@mizuho-ir.co.jp

電話: 03-5281-5288

以上

ご参考

■これまでに作成した教材

一昨年度、昨年度に作成した教材は、厚生労働省のサイトで公開中。

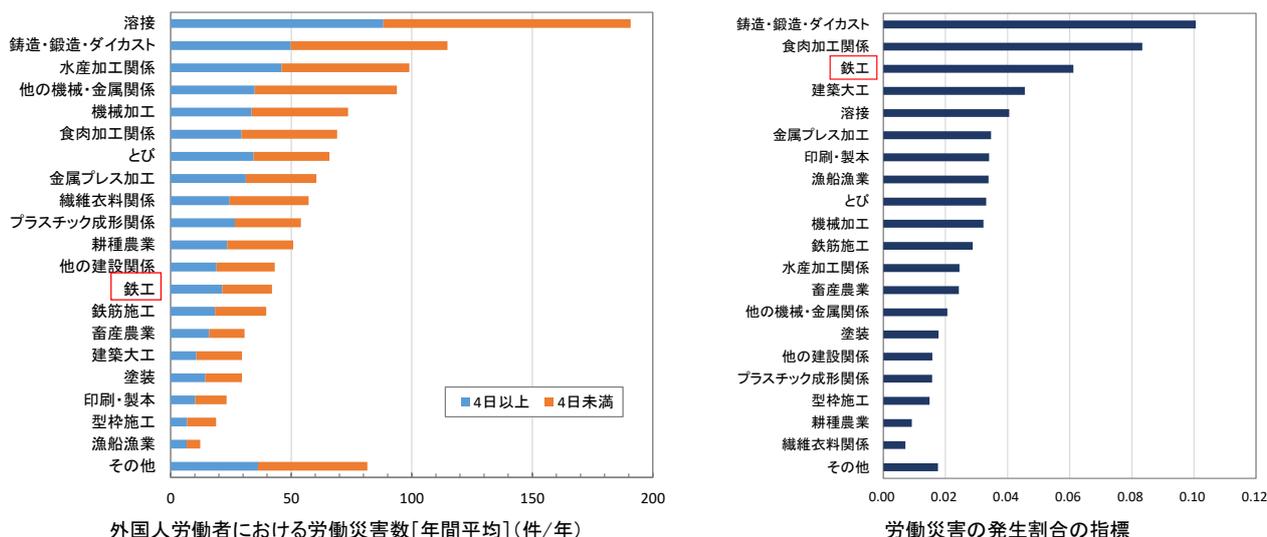
マンガでわかる働く人の安全と健康（教育用教材）

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13668.html

- ・教材：共通教材、介護業、ビルクリーニング業、製造業（素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関連産業）、自動車整備業、航空業、宿泊業、飲食物品製造業、外食業、陸上貨物運送事業、フォークリフト、クレーン・玉掛け作業、小売業、食品加工業、溶接業、鋳造業、化学物質取扱い（基礎）、化学物質取扱い（管理）
- ・言語：日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語（フィリピン）、クメール語（カンボジア）、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語、ネパール語、モンゴル語など

■外国人労働者の災害統計データ

「鉄工」は、外国人労働者における労働災害数は多いとは言えないが、発生割合は高い。労働災害として多いものは、金属加工用機械へのはさまれ・巻き込まれ、材料の飛来・落下などである。



図表 1 外国人労働者における労働災害の発生状況

出典：国際研修協力機構「外国人技能実習・研修事業実施状況報告(JITCO 白書)」のデータを元に作成。

注1) アンケートによるデータであるため、全数ではないが、回収率は約 70%。

注2) 「労働災害の発生割合の指標」=「外国人労働者における労働災害数(H24～H28)」÷「技能実習 2 号への申請者数(H25～H28)」

図表 2 鉄工作业における労働災害の特徴

順位	起因物	割合	順位	事故の型	割合
1	材料	36%	1	はさまれ、巻き込まれ	32%
2	金属加工用機械	20%	2	飛来、落下	23%
3	動力クレーン等	16%	3	転倒	8%
4	用具	8%	4	激突され	7%
5	仮設物、建築物、構築物等	6%	5	崩壊、倒壊	7%

注) 外国人労働者だけでなく、我が国の労働者全体のデータ。

出典：厚生労働省 職場のあんぜんサイト「労働災害(死亡・休業 4 日以上)データベース」の平成 24 年から平成 29 年のデータを元に作成。災害発生年ごとにおよそ 1/4 の事例を無作為抽出されたものから、構造物鉄工に関わると考えられる事例を抽出して分類、集計。

■本年度の鉄工教材で取り上げるテーマの候補(労働災害の多いケース、重大なケースとして)

- ・鋼材の落下
- ・金属加工用機械(切断機など)へのはさまれなど

その他の定例報告事項

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和3年3月31日現在 (令和2年度増減数)	/	32	34	2,197
令和3年5月20日 第1回理事会	3月31日	(0)	(12)	2,197
令和3年6月29日 第2回理事会	6月21日	13	0	2,210
累 計		13	0	2,210

《グレード別内訳》

S : 5 H : 273 M : 827 R : 603 J : 45 未 : 457 合計 : 2,210

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和3年6月21日現在

区分	登録・取消 承認	増 減							増減差	増 減 後 構 成 員 数		
		登録 社数	取消社数									
			倒産	転・廃業	縮小	工場閉鎖	休業	その他			合計	
平成13年度合計		22	48	59	37	10	8	117	279	-257	3,261	
平成14年度合計		40	67	37	45	21	4	110	284	-244	3,017	
平成15年度合計		33	38	28	38	4	9	84	201	-168	2,849	
平成16年度合計		65	13	22	18	2	1	45	101	-36	2,813	
平成17年度合計		35	15	16	14	2	3	28	78	-43	2,770	
平成18年度合計		49	8	15	19	6	3	29	80	-31	2,739	
平成19年度合計		51	13	19	20	6	1	20	79	-28	2,711	
平成20年度合計		49	17	17	29	0	4	41	108	-59	2,652	
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538	
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395	
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260	
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200	
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171	
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158	
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169	
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172	
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201	
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208	
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199	
令和2年度合計		32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197	
令和3年度	第2回 (6月21日)	13	0	0	0	0	0	0	0	13	2,210	
	第3回 (月日)											
	第4回 (月日)											
	第5回 (月日)											
	第6回 (月日)											
	第7回 (月日)											
	第8回 (月日)											
	年度末処理											
	3年度計		13	0	0	0	0	0	0	0	13	2,210
累 計		1,049	499	673	530	126	79	1,153	3,060	-2,011	2,210	

1. 転・廃業内訳	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	転業 0社	転業 1社	転業 1社	転業 0社	転業 0社
	廃業 9社	廃業 4社	廃業 9社	廃業 12社	廃業 0社

2. グレード別取消内訳		S	H	M	R	J	未	合計
	平成29年度	0	1	4	4	1	17	27
	平成30年度	0	1	2	11	0	13	27
	令和元年度	0	1	3	13	0	17	34
	令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
	令和3年度	0	0	0	0	0	0	0

構成員登録社数・増減一覽表

(R3. 4. 1~R3. 6. 21)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回		
北海道	北海道	73			0	73		
	東北	青森	36	1		1	37	
		岩手	31			0	31	
		宮城	41	1		1	42	
		秋田	23			0	23	
		山形	26			0	26	
		福島	61			0	61	
		関東	茨城	60	1		1	61
			栃木	51			0	51
			群馬	64	1		1	65
埼玉	53				0	53		
千葉	57		2		2	59		
東京	46				0	46		
神奈川	神奈川		39	1		1	40	
	新潟		新潟	88			0	88
			山梨	31			0	31
			長野	67	1		1	68
北陸	富山	39	1		1	40		
	石川	33			0	33		
	福井	42			0	42		
	岐阜	岐阜	73	2		2	75	
		静岡	95			0	95	
中部	愛知	132			0	132		
	三重	三重	61			0	61	

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回	
近畿	滋賀	31			0	31	
	京都	48	1		1	49	
	大阪	114			0	114	
	兵庫	75			0	75	
	奈良	37			0	37	
	和歌山	37			0	37	
	中国	鳥取	14			0	14
島根		23			0	23	
岡山		36			0	36	
広島		78	1		1	79	
山口		38			0	38	
四国	徳島	25			0	25	
	香川	45			0	45	
	愛媛	41			0	41	
	高知	23			0	23	
	九州	福岡	54			0	54
佐賀		24			0	24	
長崎		19			0	19	
熊本		22			0	22	
大分		20			0	20	
宮崎		25			0	25	
鹿児島		30			0	30	
沖縄		16			0	16	
合計		2,197	13	0	13	2,210	

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2021年6月1日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成13年度計		178,903	91.9	63,529	89.7	13,056	85.3	7,006,500	89.2
平成14年度計		171,031	95.6	61,468	96.8	10,958	83.9	6,694,700	95.5
平成15年度計		176,531	103.2	64,378	104.7	9,402	85.8	6,907,900	103.2
平成16年度計		182,774	103.5	69,927	108.6	6,834	72.7	7,334,400	106.2
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
20(令和2)年度	4月	9,992	89.0	3,528	90.0	199	99.5	362,750	90.3
	5月	9,444	89.5	3,520	93.6	276	187.8	365,800	95.4
	6月	9,925	84.0	3,648	85.2	85	113.3	369,050	85.4
	7月	9,701	81.0	3,543	74.5	42	32.1	356,400	73.9
	8月	9,414	84.3	2,914	69.2	54	108.0	294,100	69.4
	9月	10,068	97.6	3,368	96.7	251	165.1	349,350	98.2
	10月	9,613	90.6	3,284	89.3	107	97.3	333,750	89.4
	11月	9,371	93.1	3,000	85.5	286	307.5	314,300	88.4
	12月	9,179	88.6	3,380	83.9	226	209.3	349,300	85.6
	1月	8,377	104.9	3,183	119.6	96	89.7	323,100	119.0
	2月	8,595	95.2	3,083	102.8	198	95.2	318,200	102.5
	3月	10,435	106.1	3,767	103.5	58	58.6	379,600	102.9
	年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700
20(令和3)年度	4月	10,536	105.4	3,876	109.9	120	60.3	393,600	108.5
	5月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	6月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	7月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計		10,536	105.4	3,876	109.9	120	60.3	393,600

(単位) 面積 1,000m²
前年同期比 %(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 m² × 100kg
鉄骨鉄筋造 m² × 50kg

2021(令和3)年度主要会議日程表

2021.6.23 現在

- ◻ ↓ 夏期・年末年始休日
- ◻ ↓ 振替休日
- ◼ ↓ 土・日・祝日
- ◊ ↓ 休日出勤

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
4	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
5	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
6	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
7	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
10	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
12	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				

開催年月日	三役会	理事会	総会	委員会	その他	備考
2021年(令和3年)	6月29日 火 10:30	9月21日 火 14:00				
(6/29以降のみ表示)	9月22日 水				11:00 技術審議会	
	9月28日 火 9:30	11:30			15:00 賛助会員との懇談会	*
	10月19日 火 14:30					
	11月9日 火 14:00					
	11月16日 火 9:30	11:30			15:00 青年部会7/10/14の意見交換会	*
	12月17日 金 14:00				18:00 事務局職員との懇談会	
2022年(令和4年)	1月14日 金 9:30	12:00	15:00 ※	16:30	※全国理事長会	
	2月8日 火 14:00					
	2月22日 火 10:30	14:00				
	3月8日 火 14:30					
	3月15日 火 10:30	14:00				

関連団体	その他
【青年部会】 総会・全国大会：2021年 月 日 ()	

2022(令和4)年度予定
2022年4月8日(金) 三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
2022年5月17日(火) 三役会(14:30)
2022年5月24日(火) 三役会(10:30) 理事会(14:00)
2022年6月15日(水) 三役会(9:00) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考：全鉄評株主総会(14:00)

* = 変更箇所

＜ 北海道支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 5月分

(A)

提出日 令和3年6月3日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・10日(月) 三役会 ・5月例会(書面開催)	・鉄骨部会総会(書面開催) ・31日(月)～6/1(火) 建築鉄骨製品検査技術者学科講習会(22名)
函館		
室苦小樽		
旭川	・10日(月) 営業会議	
北見	・25日(火) 委員会(例会)	
帯広		
釧路	・12(水) 定期総会、ゴルフコンペ	

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ～ 9	1 ～ 5	1 ～ 3	75 ～ 110		○				
函館	3	3 ～ 4	3	50 ～ 100		○				
室苦小樽	3 ～ 12	1 ～ 5	1 ～ 2	80 ～ 110			○			
旭川	8	2 ～ 4	/	100		○				
北見	/	1 ～ 3	/	90 ～ 100			○			
帯広	2 ～ 6	1 ～ 4	2 ～ 4	100		○				
釧路	4	5 ～ 6	/	80 ～ 100		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	<ul style="list-style-type: none"> ・山積み状況は、各グレードとも先月とほぼ変わらず、一時期よりも改善している。工場稼働率も各グレードとも引き続き90～100%が大部分を占めている。見積りは「同じ」が48%から59%と更に増加しており改善が見られる。鋼材価格が上昇している一方で、ゼネコン受注単価が下落傾向にあり、今後の価格交渉を懸念する声が多い。 ・共同積算:1-5月 55,123t 平年比86% 前年比77%
函館	<ul style="list-style-type: none"> ・各社バラつきはあるが、稼働率・山積み共に上がってきている様子。見積りも平均すると昨年並みには出てきている。価格については大きく変わらない。
室苦小樽	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中物件が少ない。(特に中型物件) ・急激な資材価格の上昇で、引合先との調整が難しく、ファブの負担が大きくなる状況になりつつある。
旭川	<ul style="list-style-type: none"> ・各社の稼働状況は順調。
北見	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場以降の物件に先細り感がある。また、鋼材等建築資材の価格上昇に、ゼネコン受注単価が追いついておらず受注単価が厳しい状況。
帯広	<ul style="list-style-type: none"> ・各社、夏場までの山積みは確保しているが、その後は不透明。資材の高騰、納期遅れを不安視している。
釧路	<ul style="list-style-type: none"> ・4月同様、ここにきて鋼材の価格上昇が目立っており、今後の発注物件に悪影響が及ぶことが予想されるので、動向を注視したい。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2021年（令和3年）5月分

(A)

提出日 令和3年6月1日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○5/17 令和3年度通常総会 ○5/19 積算業務担当者会議	○5/11 東北鉄構連積算業務委員会（WEB） ○5/25 東北鉄構工業連合会監査（盛岡・青森） ○5/27～28 2021春期 NDI-UT レベル1 対策実技講習（多賀城）
岩手県	○5/12 県南支部会 ○5/14 盛岡支部会・役員会 ○5/20 令和3年度通常総会・青年部通常総会	
宮城県	○5/13 理事会・監査 ○5/28 通常総会（書面決議）	
秋田県	○5/21 営業担当者会議	
山形県	○5/18 三役会及び役員会 第45回通常総会 「溶接ヒューム濃度測定の実例とマスクの選定」についての説明会 ○5/19 超音波探傷技術研究会 役員会	
福島県	○5/6 白河支部総会（書面議決） ○5/14 青年部総会 ○5/25 福島支部総会（書面議決） ○5/28 第39回通常総会（書面議決）	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造 (H+H)	S造 (コラムH)	SRC造
青森県	2～11	3～7	2～5	50～120			○			
岩手県	2～8	2～6	1～2	70～100			○			
宮城県	5～11	2～5	1～3	50～100		○				
秋田県	5～9	3～6	2～3	60～110			○			
山形県	3～10	1～7	1～4	80～100			○			
福島県	5～10	0.5～12	1～7	30～120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	見積物件が引続き減少傾向。工場稼働率・手持ち工事量は横ばい。他地域での安値は聞こえてきているが、県内の価格は今のところ現状保持している。一部、入手に時間がかかる鋼材が出てきているため、今後さらなる情報の共有を呼び掛け合っている。
岩手県	工場加工費、工場稼働率ともに横ばいだが、手持ち工事量が若干減少した。2か月間好転していた見積物件数が減少に転じた。鋼材価格が上昇する中で入手難鋼種も徐々に増加し、引き続いて先行きの不透明感は払しょくできない。引き続いて各社協力し仕事のシェアをしながら現状を乗り越えている。
宮城県	手持ち工事量、稼働率共にほぼ横ばい。見積もり物件数あまり変わらない状況。材料価格の高騰が激しい為、今後の受注単価にいかにか反映させられるかが焦点。
秋田県	手持ち工事量、稼働率に大きな変動はないが、価格が厳しく先行き不安である。また鋼材が急激に高騰しているのと入手難な鋼材が多く工程が予定通り進まない可能性も出ておりかなりの懸念材料である。
山形県	全体的に大きな変動はないが、先が読めない状況である。鋼材の値上げの動きがあるので注視していきたい。
福島県	地元の中小工事の引き合いは、いまだに少ない状況の様子です。各工事も受注してから、元請・設計からの返答が遅かったり、建て方予定日が他製作に影響が出るくらい遅延したりといったことが多く聞こえており、これからの鋼材費等の高騰も重なって、利益を確保することも厳しい状況です。

< 関東支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 5月分

(A) 提出日 令和3年6月7日

都道府県	①全構協推進事業の現状		②支部活動状況	
東京都	19日 理事会、通常総会		関東支部活動・行事等	
千葉県	12日(水)西部支部親睦ゴルフ 21日(金)通常総会			
神奈川県	13日 理事会、20日 研修会・通常総会			
茨城県	12日 東関東非破壊検査研究会役員会 18日 第34回通常総会(41名参加) 20,21日 ものづくりマイスター	29日 JIS溶接技能検定 受験者 87名 30日,31日 UT実講習会(レベル1, 2) 受講者10名 *I型試験体の作り直		
埼玉県	13日(木)協会役員会 21日(金) 固形タブ技量付加試験受験準備説明会 22日(土) 第45期通常総会、第32回協会定時総会	28日(金) 固形タブ技量付加試験 5月中 工場審査(延期分)3社		
栃木県	5/7 賛助会総会、5/14 青年部総会、5/20 臨時理事会 5/20 第9回通常総会、5/27 性能評価サポート(1社)			
群馬県	28日 正副理事長会議・第37回通常総会(WEB)			
長野県	18日 通常総会(書面決議)、理事会			
山梨県	10日 理事会 14,15日 溶接JIS検定 16日 高校生溶接競技会 事前講習会 21日 総会(書面議決)	24日 青年部会 26日 経営近代化委員会 28日 溶接安全委員会 [教育]若手人材育成事業 17~19日 溶接実技講習		26日 鉄骨製図 27日 品質管理 28日 金属材料機械的試験 20~22日 (一般)
新潟県	5/21 令和3年度(第38期)通常総会 5/28~29 製品検査技術者 学科講習会 (13名)			

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	6~12	1~6	1~2	70		○				
千葉県	3.0	1.5~6	0.5~5	50~100		○				
神奈川県	4~12	0.5~6.2	3.0	30~120			○			
茨城県	10	4~6	2	70~90		○				
埼玉県	3~10	2~15	0~5	0~100			○			
栃木県	7~8	2~8	2~6	70~100		○				
群馬県	5~11	4~6	1~4	50~100		○				
長野県	4~8	2~13	-	80~110		○				
山梨県	8~12	1~15	2~3	70~100			○			
新潟県	8~12	3~6	2~3	75~100		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	中小案件が減少して各グレードのファブ間で手持工事量に開きがあり、二極化した状況が依然として続いている。また、相次ぐ鋼材、副資材の値上げ等で製作コストが上昇し厳しい状況となっている。
千葉県	鋼材が高い。元請に件がない(安値すぎて受注できない)仕事量は増えたが値段が安い。4月の仕事量が薄く、目先の仕事を集めたら溢れてしまった。鋼材の高騰の中、価格を落としていると聞く事もあるが、落とすことないけそう。段階的に鋼材費、値上げ有り見積り注意
神奈川県	鋼材、溶材、二次製品等の値上がりが予想以上で、どこまで上がるのか予測が難しい状況です。そんな中、見積もりは増えていて材料費をどの程度見越して上げていくのが難しい判断となってきた。
茨城県	・公共工事は見積りが出てきたので6月議会議決で発注されると思う。民間も多少出は来ているが、少ない。年末にかけての動きに期待をしたい。材料が上がっているのに、ゼネコンの指値が厳しく受注単価に苦慮している。 ・図面決定の遅れ、設計変更などが多く工作図現寸担当者が、建方延期等で荷積み出荷ヤード担当者が振り回されている。予定していた製作工程も平穩にいかないため毎日バタバタと過ぎている。鋼材価格の上昇のため材だけでも進めたいのか商社案件は焦り要求が多く、落ち着いて仕事できてない。見積りも依頼は商社からも地場ゼネコンからも少なく、物件が少ないから指値額も驚く値である。 ・大型の引合物件数は増加傾向にあるが、材料費の値上げ要因と加工費の厳しい単価は依然として判断を許さない状況。
埼玉県	いまだ価格の下落や物件の延期話しが止まらない。更に、新規物件の計画見直しもあるようで見積り物件数も減ってきた。また、いまだ材料値上げも続いており企業経営が苦しくなっている。
栃木県	・鋼材価格が上昇しているが受注単価に上乗せとはいかない。ゼネコン指値が厳しいが安値受注は控えていきたい。 ・見積りは増えてきているが手持量、稼働率において格差がみられる。
群馬県	鋼材、溶材の材料費の値上げが止まらない。また相変わらず施工図のチェックバックが遅く工程管理が難しい。最近では、令和4年から5年の工事の話があるが、価格は現在の最低価格であり、来年以降は、仕事はあるが価格は安い状況となりそう。
長野県	鋼材・副資材の価格高騰が凄まじく加工費を圧迫。受注済みの物は材料入手を急いでいる企業も。手持ち工事量の二極化は変わらない状況である。
山梨県	鋼材価格の上昇が止まらない。鉄骨建屋に使われる副材料も、鉄に関するものは基本的に10~25%程度上昇している。
新潟県	地元案件の計画・発注が少なく、組合員間で手持ち工事量・稼働率に格差が生じている。受注価格に関しては、全グレードとも下落傾向。鋼材価格の値上げの情報もあり加工費への圧迫により、収益の悪化が心配される。

《 北陸支部 》 状 況 報 告 書

2021年（令和3年）5月分

(A)

提出日：2021年5月26日

① 全構協推進事業の現状		
県名	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	14日(金) 青年部会・第1回役員会 21日(金) 第43回通常総会(書面議決)	20日(木) 全構協第1回理事会
石川県	6日(木) 臨時三役会 7日～8日(土) UTレベル1実技試験対策講習会 12日(水) 第2回三役会 25日(火) 第2回理事会、第50回通常総会	
福井県	21日(金) 青年部会通常総会(書面議決) 27日(木) 組合通常総会	

(B)

県名	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率 (%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(単位:千円)		
	H	M	R・J		多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～10	3～5	1～3	70～100		○				
石川県	4～11	2～4	1～2	60～100			○			
福井県	4～12	1～4	1～2	40～110			○			

(C)

現状と今後の状況の見通しについて	
県名	見通し・意見～提案
富山県	大手ファブの稼働率は、変動はあるものの100%に近い状態であり、大手設計事務所は多忙な状態が続いており、今後の仕事量については心配は無いと思われる。中小ファブは、仕事はすこしづつではあるが増えているが、ゼネコンの指値は依然厳しく、稼働率の低いファブの中には、安値受注しているところもある。また、見積が少しづつ増えてきている中、板関連の鋼材(プレスコラム・BHなど)の納期が長期化していることと、HTBの一部サイズが入手しにくいことなどが常態化すれば、今後RC造に設計変更になることも考えられ注意を要する。
石川県	新型コロナウイルス感染拡大で石川県独自の緊急事態宣言が発令される事態となったが、各社4月頃より工場稼働率は上がっている状況。企業間差はあるものの、秋にかけての仕事を確認している様子。秋以降の物件については、緊急事態宣言等の影響により工程のずれ、工期の遅延にならないか危惧している。だが、隣県では仕事量が激減しているため、安値受注で入られるが、何とか受注価格が下落しないよう頑張りたい。
福井県	・5月は大きな動きは見られなかった。コロナ禍により大都市圏への営業活動や現場管理等が制限され、一方で県内での中小物件は皆無に近い。 ・新幹線関連や福井駅前開発等の県内大型物件は動き始めているものの全国GCからの”草刈り場”の様相を見せていて、鉄骨工事の県外流出に大きな懸念がある。 ・鋼材と副資材の再値上げに喘ぐ中、今秋の発注増に期待しつつ地域ファブが相互協力して何とか単価を維持しながら端境期を凌ぐことが一層肝要である。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 5月分

(A)

提出日 2021年(令和3年)6月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等
岐阜県	20日(木) 第46回通常総会	10日(月) 製品・超音波学科講習会 講師打合せ 26日(水) } 建築鉄骨製品・超音波 27日(木) } 検査技術者 学科講習会
静岡県	21日(金) 通常総会・役員会	
愛知県	12日(水) 青年部会 17日(月) 第47回定時総会 19日(水) 評価委員会 出席 25日(火) JIS溶接:学科講習会	
三重県	28日(金) 理事会(書面決議による総会) 性能評価サポート 1回	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3~8	2~3.5	1.5~2.5	100 ~ 110		○				
静岡県	6~8	1~6	1~4	60 ~ 100			○			
愛知県	7~15	2~8	1~4	60 ~ 120		○				
三重県	9~12	2~8	1~3	60 ~ 120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・来週よりさらに鋼材値上がため不安。 ・受注回復はまだまだ厳しい状況が続くそうで不安である。
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・年内の見通しは、仕事量は勿論、受注金額も厳しい状況が続くそう。市場に物量が増えてこない限り、根戻しは期待できそうもない。比較的大きな県内物件については、他県からのファブの参入もあり、地元案件だけを営業対象にしている仕事量の確保が困難な状況。 ・見積もり案件は増えてきている感触があるが、実際の仕事に繋がりにくいものは少ない。鋼材価格が高騰を続けているので、材料の単価には注意していきたい。 ・引合い物件の単価の下がり方がひどく、失注する物件が多い。年内の物件は、何とか繋がっていきそうだが、来年の話は更に物量・単価面はひどくなるとの情報ばかり。 ・地場の案件が少しずつ増えてきたような感じがする。小さい物件は利益が付いてくるが、大きくなるとやらない方がいいような単価が出てくる。また、大型案件の動きはいいように見えるが、実際はどうか。今年いっぱいこんな状態が続くと思われる。
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の工事量は確保しているが、来年分については延期される可能性もあり不安な状態です。 ・見積もりは多いが、思うように受注出来ない状況。 ・鋼材価格の値上がりで加工費にかなりの影響が出てくるため、適正な価格を維持して受注したい。 ・コロナの影響で予定していた工事が遅れ、工場の調整が厳しい状況。 ・鋼材、副資材の相次ぐ値上げで、安易な安値受注は控えられてきているように感じる。
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍中で今はいいですが、秋口から減産になる。材料費の高騰で加工費が下がってます。コロナが現場でも出始めているので仕事が止まる可能性がある。 ・材料価格の値上分をゼネコンと協議して何処まで見込んで頂けるのが加工費の確保のカギとなると思います。 ・また、今後の見積物件の鋼材単価の値上がりが非常に厳しい状況です。 ・小規模物件の見積りが多い。鋼材等他すべて値上がり傾向にあります。受注単価は厳しい状況です。 ・我々単体業者が個々に訴えるだけでなく、全構協全体から現況を国に訴えて改善を願います。

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年5月分)

(A)

提出日 令和3年6月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・5/19/・29 技術・サポート 2社 ・5/11 溶接ヒューム説明会 (於:(株)大井鉄工所) ・5/25 第50回通常総会(書面決議) 	
京都府	<ul style="list-style-type: none"> ・5/11 スマートファクトリー説明会(リモート) ・5/22 認定評価委員会(リモート) ・5/26 第48期 通常総会(書面表決) 	
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・5/28 第8回定例理事会、第48回通常総会(書面開催) 	
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・5/28 教育技術委員会 ・5/28 第49回 通常総会 	
奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・5/18 工場認定合同説明会 ・5/24 三役会 ・5/22 評価委員会 ・5/26 会計監査 	
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・5/7 理事会 ・5/24 第46回 通常総会 ・5/22 リモート会議(全鉄評 評価委員会) 	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6～12	2～6	1～4	50～100		○				
京都府	6～12	1～5	1～4	73～90			○			
大阪府	6～12	2～4	1～3	50～100			○			
兵庫県	6～12	2～4	1～3	60～100			○			
奈良県	～	2～8	2～3	60～100		○				
和歌山県	6～12	2～4	1～3	40～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	各府県とも同様だが加工費の指値は厳しい状況にある。6月からの鋼材価格・副資材費も一律値上げの状態が4月辺りから新規受注された物件は板挟み状態が懸念される。鋼材費が加工費に食い込む事が予測される為、安定した高値加工費の確保と今後2段階ほど上昇が予測される鋼材費を加味した受注を心掛けたい。
京都府	見積物件が少ない中、今年に入り未だに鋼材の高騰が続き関連副資材の高騰、入手難でさらに景気の悪化が懸念される。年内はなんとかかなりそう。実際コロナの影響でテナントビル等の遅延が発生している。加工現場までかなり安い物件が出回っている。見積案件はきれずにあるが府内の得意先からの案件が少なく近畿圏での見積案件でこなしているが引合までは至っていない。受注単価が下がってきているが鋼材費等の原材料費が上昇しており先々の大型案件の受注は見送っている。工場が動く程度の案件をこなしている。見通しは不明。東鉄の値上げ発表により先行き分らない。
大阪府	鉄の値上がりりが顕著で単価設定が難しいが、指値は低下傾向である。加工費がかなり圧縮されている。物件数も今のところ多くは出ておらず、受注の厳しい状態は、しばらくの間続くと思われる。稼働率も50～70%のところが多い様子。総会の開催については、緊急事態宣言の延長により2年連続の書面開催となった。理事会や各委員会など、今後はオンライン会議も視野に入れている。
兵庫県	先月に引き続き鋼材価格の高騰が継続中である。ボルトの供給もM22,M24はサイズによっては品薄状態で、納期に注意が必要だ。M,Rグレードが手頃と思う物件が少なく、工場の稼働率が上がってこないのが現状のように思われる。
奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・春頃までは、決まった物件が有りましたが、夏に掛けてあまり忙しく無い様にも思えます。 ・契約単価(加工単価)が、下がっていると聞き、逆に鋼材単価の値上げが心配です。 ・傾向としては、大型案件は計画通り動いていますが、中小物件が少ない状況です。
和歌山県	鋼材価格が右肩上がりの状況が続いている。引き続き注視していきたい。このままの状況が続くようだと先々の案件の計画延期や中止の声が聞こえそうな気がする。

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年) 5月分

(A)

提出日 2021年(令和3年) 6月2日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況		
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等		
鳥取県	10日(月)	理事役員会	11日(火) 全青会：中国BC役員会 (リモート)	20日(木) 全構協：三役会、理事会 (リモート)	
	28日(金)	第29回通常総会・次世代の会例会			
島根県	14日(金)	青年部会 役員会、第36期通常総会(出雲市)			
岡山県	26日(水)	第50回通常総会(岡山市)			
広島県	19日(水)	組合青年部会 幹事会(リモート)			
	25日(火)	第48回通常総会(リモート)			
	28日(金)	3年度前期 性能評価勉強会			
山口県	13日(木)	第47回通常総会			

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	3～10	1～4	1～4	70～110			○			
島根県	3～4	1～3	0.5～1	40～90			○			
岡山県	9～14	2～10	3～5	50～100			○			
広島県	11	0～6	0～3	0～120			○			
山口県	3～4	1～5	1～2	50～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	見積も少なくなっている中、ゼネコンの受注競争も厳しくなって鉄骨発注価格も厳しい指値もみうけられる。その中鋼材価格・副資材も値上げが続き板挟みになって思うような受注につながらないケースが出てきている。またコラム等も納期のかかるものも出ており納期においても懸念材料となっている。Hグレードでも受注はあるものの図面が決まらなかつたり、材料の入荷が遅れたりして山が低い時もあるようだ。ただ秋口からは期待感もあり我慢のしどころとおもわれる。
島根県	5月も少しずつ小規模案件の引合い・受注物件は出ている模様ではあるが、事業の核となる大・中規模の工事は非常に少ない。また、引き続き鋼材価格が上昇しており、更に工事受注が厳しいものとなっている。全般に先行きの不透明感に変わりはない様である。
岡山県	先月とあまり変わらず、非常に厳しい状況になりつつあります。材料に加えて副資材関係も価格が上がり、請負金額は下がりつつある。全体的に仕事量も減少。ただし、夏以降盛り返すファブもあるが安心しきれない状況です。
広島県	今回の調査では、稼働率100%以上の回答企業が4割、70～90%の回答企業が4割、30%以下の低稼働回答が2割となっている。低稼働企業の中には、昨年11月に、雇用調整助成金を活用して一部休業を開始し、現在全面休業中(再開未定)との報告もある。手持ち工事量では、Hグレードは11か月を確保するが、M以下では3か月以下の企業の割合が80%強と、格差が益々拡大している。見積りの少なさは、依然として解消されず、鉄骨価格が低迷する中で、鋼材値上げや入手難等の不安材料への強い懸念の声が多数寄せられている。仕事が薄い中、競争案件を不用意にバーゲン受注すると、受注後の鋼材値上げ分を価格転嫁できず、厳しい損失を被ることとなるので、特に要注意。閉塞状況が長く続き、厳しさを増しつつあるが、需要回復を信じ、業界全体の利益のため、今一度踏ん張り、不採算受注の防止に取り組みたい。
山口県	Hグレードでは、今月は一次加工や雑工事の加工を行っており、来月から幾らか製作に入るものの全体的な稼働率は75%と話す。見積も依然少なく設計見積ばかりが目立ち、雑工事の依頼があっても単価が厳しい状況。M・Rグレードでは、小口物件が多く仕事量が少ないため同業他社とのシェアで賄っている。見積も小規模耐震工事、改修工事等が散見しており、大型物件の見積があっても計画又は予算見積で実際の工事に結びつかない。特に公共物件が少ない。鋼材価格の急激な上昇で見積が難しく受注物件・受注前物件などの対応に苦慮しているが、変動に注意し、情報収集や見積期限を明確にする等しっかりと交渉していきたいと話す。仕事量が減少する環境において、鋼材価格の上昇、ボルト・鋼材の確保困難による納期の遅れ、価格の不透明感など先行きに不安があるなか、緊急事態宣言の延長や近県の追加などその影響を心配する声もある。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2021年(令和3年)5月分

(A)

提出日 令和3年 6月 1日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	6日(木) 第2回情報交換会・理事会 20日(木) 大日本塗料との塗料会議 25日(火) 正副理事長会・令和3年度総会	
香川県	11日(火) 2020年度監査 21日(金) 第41回通常総会	
愛媛県	27日(木) 令和3年度総会	
高知県	21日(金) 令和3年度総会(書面議決)	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	4 ~ 6	1 ~ 2	1 ~ 2	70 ~ 100			○			
香川県	~	2 ~ 5	~	80 ~ 100			○			
愛媛県	3 ~ 7	2 ~ 4	1 ~ 3	70 ~ 100			○			
高知県	5 ~	1 ~ 5	1 ~ 3	70 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	5月の物件報告数は、先月より若干増加しているがまだまだ少なく小型物件が多い。安値受注は絶対に避けること。低単価にならないよう組合員一致団結が必要。
香川県	鋼材、副資材等は値上がりしている一方、ゼネコンからの受注価格は下降傾向にある。物件数が少ないため、ゼネコンも安値で施主から受注しており、我々FABにも大きく影響している。尚、現状見積り件数は少なく、受注物件の承認遅れなど秋以降は不透明な状況です。
愛媛県	現状の稼働率は残業無しの忙し過ぎず、暇でもなくそれなりだが、先を占う見積り状況については減っているところが大半で途切れなかった見積りが春先以降急激に減ったとの報告もあり、特に県内中小物件の先行きが心配される。
高知県	相変わらず見積りの少ない状況が続いている。価格も厳しくなっている。

< 九州支部 > 状況報告書

2021年(令和3年) 5月分

(A) 提出日 令和3年6月2日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	5/6・7 「特定化学物質及び四アルキル鉛等」作業主任者技能講習 5/24 第1回福岡県建築鉄骨協議会(中止) 5/26 第44回通常総会	・5/12 建築鉄骨検査(製品・超音波)技術者 学科講習会講師打合せ(中止) ・5/13 全構協九州支部H部会 監査 " 役員会(WEB) ・5月実施予定 全構協九州支部H部会 品質・安全パトロール(2社) 延期 ・5/19 支部総会書面決議終了
佐賀県	5/19 構友会ゴルフ 5/25 審査サポート 5/27 第2回理事会・第46回通常総会	
長崎県	5/11 検査・技術委員会 第2回講習会WG会議、5/14 青年部第1回役員会、5/17 鉄骨研究会 総会(WEB)、5/27 第41回通常総会開催(代理人5名による議決)	
熊本県	5/13 理事会・定例会・総会(書面議決) 5/21 青年部監査 5/26 認定サポート部会	
大分県	5/18青年部総会・親会総会書面決議終了 5/21UTレベル2実技試験	
宮崎県	5/7 青年部幹事会 5/26 通常総会開催(三役集会)	
鹿児島県	5/14通常総会 5/28技術委員会	
沖縄県	・5/7日:定例理事会、16～17日:UTレベル1実技試験対策講習会、18日:営業部会、 21日:令和3年度通常総会	

(B)

都道府県	①受注物件件数(カ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	3 ~ 8	2 ~ 3	1 ~ 2	50~100			○			
佐賀県	6	2 ~ 6	0.5 ~ 5	50~100			○			
長崎県	4 ~ 8	2 ~ 6	—	40~100		○				
熊本県	4 ~ 8	3 ~ 7	2 ~ 3	85.4			○			
大分県	8 ~ 10	2 ~ 3	—	60~100			○			
宮崎県	5 ~ 6	2 ~ 4	1 ~ 3	70 ~ 115		○				
鹿児島県	3 ~ 14	1 ~ 8	1 ~ 2	30~100			○			
沖縄県	1 ~ 3	1 ~ 2	1	60~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	各社の仕事量にバラつきがあり、今後の受注単価の下落と鋼材価格の高騰が懸念される。 また、5月発令された3度目となる緊急事態宣言に伴い、組合事業等の中止が相次ぎ、今後の運営にも大きく影響が及ぶ模様。
佐賀県	・材料の高騰により、加工費が圧迫されており厳しい状況となっている。 ・資材価格の値上がりで利益が落ち込んでいる。見積りが少ないが、秋頃には増える見込み。
長崎県	直近の稼働状況は少ない、ただし、見積り物件数は確実に増加状況なので価格の交渉はしっかりと検討していきたい。現状は厳しい状況ではあるが、先行き明るい兆しがうかがえる。Hグレードは晴れ、Mグレードは曇り後晴れの状況が予想される。
熊本県	概算見積りが少し増えてきた。指値が厳しくなってきた。(材料が高くなってきたにもかかわらず…) 商社の動きが顕著になってきた。公共工事のRC化が進んでいる。
大分県	◎来年の見通しが立たない。単価も下がってきているので、協力して下げないようにしてほしい。◎見積もり件数がすくなくなった。◎今後の鋼材価格動向が気になる。
宮崎県	見積り件数、手持工事量、稼働率ともに僅かながら増加傾向にあるものの、目先の物件が少なく単価は下落している。今後、鋼材や副資材の高騰分が転嫁出来なければ収益を圧迫することになる。
鹿児島県	少しずつ動きは出て来たが、中小物件の引合は少なく地域間で格差が広がっている。鋼材の値上がりに単価の下落と不安材料が尽きない。
沖縄県	・手持ち仕事量にファブ間の格差が大きくなっている。稼働状況も日々悪くなり60%程度まで落ち込んでいる。